

## 高井戸第二小学校 高学年分科会提案資料

### 研究主題

## 主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

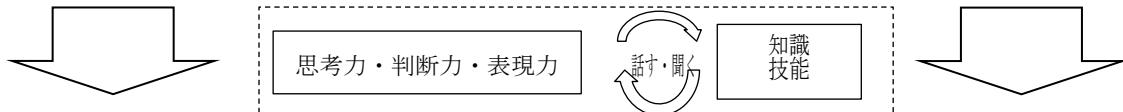
### 高学年（第5学年）分科会提案資料

#### 児童の実態

- 本学級は、2学期から国語に限らず、他の教科・領域の学習の中で話し合い活動を取り入れてきた。  
話し合い活動を多く取り入れることで、初めは話し合うことに戸惑いが見られたが、素早く活動することができるようになってきた。
- 自分の考えを分かりやすく相手に伝えることに苦手意識を持っている児童が多い。
- 話し合い活動を通して、話すこと・聞くことの力、質問する力をバランスよく高めていくことに課題が残っている。

#### 児童に付けたい力（指導事項）

- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。（ア）
- 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。（イ）
- 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。（エ）



#### 分科会テーマ（目指す児童像）

自分の意見をもち、他人の意見と考えを関係付け、考え方を見つめ直す児童の育成

テーマに迫るために（年間を通じて意識的に取り組む手立て） ※本単元についての手立ては後述する。

- ・各単元で指導事項を明確化し、その項目を重点的に指導する。また指導事項にふさわしい言語活動を、単元を貫いて位置づけることで、目的をもって話すこと・聞くことの活動に取り組ませている。

教材名	指導重点事項	言語活動
4月 教えて、 あなたのこと	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。	友達と二人組になり、「好きな遊び」「好きな動物」「一度でいいから会ってみたい人」などをインタビューし、友達を一文で紹介する。
6月 きいて、きいて、 きいてみよう	話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。	三人一組で活動を行う。インタビューする側は、質問内容を準備して、応答に合わせて臨機応変に質問を変えるなどする。インタビューされる側は、質問の意図を的確に把握し、必要なことを過不足なく話す。さらにもう一人が、インタビューのやり取りを聞いてその内容をまとめ発表する。

10 月	すいせんします	考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。	自分が、誰をどんな理由で推薦するに値すると判断したのか、目的に応じた人物の特徴を集めて整理し、聞き手に明確に伝わるよう、事実と意見を区別した話の構成を工夫する。推薦を聞く際には、話の中に自分自身で納得できる理由が入っているかどうかを吟味する。
2 月	明日をつくる わたしたち	互いの立場や意図をはつきりさせながら、計画的に話し合うこと。	「最高学年とは何か?」という大きなテーマをもち、来年の一年生に対してできることを考え、話し合う。その際、事前にインタビューしたことや調べたことを出し合い、自分たちにできることを具体的に考えていく。話し合ったことは、来年度に児童主体で実現させていく。

#### 日常活動の取組として

##### ○ミニ単元

- ・無人島 SOS・話の聞き方うめらいス（話し合いに必要なスキル）・しりとりの法則
- ・要約ゲーム・言葉のキャッチボール など

##### ○対話ルーレット（グループでの話し合いの際に、役割を示したルーレットを用いる。）

##### ○高二タイム

- ・選択型対話（例：朝食は和か洋どちら？ 毎日席替えはアリかナシか など）
- ・自由対話（例：夏休みにやり残したことは？ など）
- ・児童から出てきた話し合いのテーマ

# 第5学年 国語科学習指導案

日時 令和2年2月5日(水)第5校時

対象 第5学年2組 27名

授業者 藤田 茜

## 1 単元名

「高二小のよりよい学校生活のために」

## 2 単元の目標

- ・話し合いに関わる語句の量を増し、話し合いの中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成について理解し、語彙を豊かにしている。（知識・技能）
- ・話し合うことを通して、考えを広げたりまとめたりしている。（思考・判断・表現）
- ・話し合いによって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすることのよさを認識し、進んで話し合おうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

## 3 単元の評価規準と学習活動に即した具体的な評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	○話し合いに関わる語句の量を増し、話し合いの中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成について理解し、語彙を豊かにしている。	○目的や意図に応じて、話し合うための材料を集めている。 ○集めた材料を関係付けて（まとめる、結び付ける）話し合う内容を検討している。 ○話し合うことを通して、考えを広げたりまとめたりしている。	○話し合いによって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすることのよさを認識し、進んで話し合おうとしている。
学習活動に即した具体的な評価規準	①話し合いの中で、説得力が増すように語句の使い方や表現を工夫している。	①目的や条件に応じて話し合うための材料を集めている。 ②収集した情報を関連づけて提案する内容を検討している。 ③自他の意見の違いを踏まえ、計画的に話し合いを進め、考えをまとめている。	①最高学年として取り組みたいことについて進んで話し合って提案しようとしている。 ②話し合いのよさに気付き、話し合いのしかたを他の場で生かす意欲をもっている。

## 4 単元構想

### (1) 児童について（児童観）

本学級は4月にクラス替えをした。5月に実施した杉並区の特定課題調査のアンケートでは「授業中、ペアやグループで活動したり話し合ったりする時間が多くある」の設問では、肯定的に答えている児童が63.0%にとどまっている。2学期から、国語の学習に限らず、様々な教科・領域でペアやグループで話し合う活動を意図的に授業に取り入れるようにしてきた。初めは、話し合うことに戸惑う姿が見られたが、話し合う機会を増やすことで、素早く活動することができるようになってきた。

一方で、同アンケートでは、「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。」という設問に肯定的に答えていた児童は、55.6%に留まっている。また、Q-Uテストの「授業中に質問に答えたり発言したりするのは好き」という設問に、肯定的に答えていた児童は6月実施では8名、12月実施では5名と少ない。このことから、自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることがうまくできないことが原因で、話し合い活動への苦手意識が強いと考える。実際に、日頃の話し合い活動の中で、うまく伝えることができず、考えを受け止めてもらえないかかったり、反応がないことから伝わっているのかよくわからなかったりするという姿が見られる。

以上のことから、自分の考えを相手に分かりやすく話すこと、分からぬことを聞き相手の考えを理解し聞くことの力の両方をバランスよく高めていくことが課題である。

### (2) 話題について（学習材観）

本単元では、児童が主体的に学習に取り組めるよう、話し合う必然性がある話題設定を目指した。そこで、4月には全員が必ず直面する6年生への進級や、それに伴う「高二小の最高学年」としての役割を扱うこととした。また、さらに細かく、6年生になってすぐに行う「1年生のお世話」に焦点を絞り、そこで何ができるか、どのように行うか等の具体的な方策を話題として設定した。

これにより、本単元での話し合い活動を6年生での実際の活動に反映させられるようになる。話し合いを「良い6年生になりたい。」「どういった姿が良い姿か。」といった観念的な内容で行わず、より実際的な児童の行動を考えることで、話し合いの必然性や児童が主体的に取り組む意欲が高まるこことをねらいとしている。

### (3) 単元について（単元観）

自分の考えを広げたり、深めたりするためには、互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合いを進めることができるのである。その話し合いを効果的に進めるための力を身に付けることをねらいとした学習である。

話し合いを効果的に進めるために、話し合いのための情報を集め、その情報を分類したり関係付けたりできる時間を設ける。また、自分の考えを深めるために、自分と話し手の考えを比較したり、話の仕方をふり返るために、話し合いと話し合いを評価するグループに分かれて活動したりする時間を設けていきたい。

## 5 研究主題に迫るために

「自分の意見をもち、他人の意見と関係付け、考えを見つめ直す児童」

### 柱1 単元計画の工夫

#### ○単元設定の工夫

本単元では、児童が話し合う必要感があるテーマを選ぶこととした。また、話し合う必要感があるだけでなく、実現性のあるテーマにもしている。4月から最高学年として、1年生のお世話をする5年生にとって、明確な目的をもたせることで向上心をもって学習に取り組み、自分の意見をもつようになると考える。

### 柱2 話せる・聞けるようになるための工夫

#### ○話す・聞くの日常化

2学期の研究でも取り組んだ15分間の高二タイムを再度活用し、話す聞くのスキルアップを図っている。今回の高二タイムでは、2学期よりも少し発展させ、話し合う内容を児童自ら決めて取り組むこととした。それと同時に、吹き出しMAXも継続して使用している。継続して取り組み、語彙を増やしていくことで、より話し合いを円滑に進めていくことに繋がると考えた。また国語だけにとどまることなく、様々な教科で繰り返し使用していくことで、話す聞く力が付いていくと考える。

#### ○学習形態の工夫

話し合う際の1グループの人数を3~4人とし、1クラス8グループとした。一方の4グループをA、もう一方の4グループをBとした時、Aグループが話し合っている際、BグループはAグループの話し合いを観察する。これは、自分たちでは、話し合っている様子や良い姿に気付きにくいという課題を改善するための手立てとなると考えた。

## 6 単元計画（全5時間扱い）

	学習内容	指導事項	◆評価規準 ★評価方法
1	<p>○学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>これまでの話し合い活動を振り返る。</li><li>高二小の最高学年として、よりよい学校生活にするというテーマで学習していく見通しをもつ。</li></ul>	才. 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考え方を広げたりまとめたりすること。	主体的 ◆話し合いのよさに気付き、話し合いのしかたを他の場で生かす意欲をもっている。 (★観察、ノート)

よりよい最高学年とは何だろう

2	自分の考えをまとめよう		
	<p>○話し合いのための準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿って自分の考えをもち、それを具体化するための情報収集の計画を立てる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           3時までの間に6年生や先生などに最高学年についてのインタビューをしたり、考えをまとめておいたりする。         </div>	<p>ア. 目的や意図に応じて、これまでの学校生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。</p>	<p>思考・判断・表現            ◆目的や意図に応じて話し合うための材料を集めている。            (★活動, ワークシート)</p>
3	「良い最高学年」についてグループで話し合おう		
	<p>○グループで自分の意見とその理由を発し合い、考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8つの班が交代で、話し合いと話し合いをアドバイスするグループに分かれて活動する。</li> </ul> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>ウ. 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現の工夫をすること。</p>	<p>思考・判断・表現            ◆収集した情報を関連づけて提案する内容を検討している。            (★活動, ワークシート)</p>
4	次の話し合いのテーマを決め、自分の考えをもとう		
	<p>○次の話し合いのテーマを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の話し合いを全体で振り返り、次の話し合いのテーマを決める。</li> <li>・「1年生のお世話をする」という具体的な活動を行うために、情報収集の計画を立てる。</li> </ul>	<p>ア. 目的や意図に応じて、これまでの学校生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。</p>	<p>思考・判断・表現            ◆収集した情報を関連づけて提案する内容を検討している。            (★活動, ノート)</p>
5 (本時)	「1年生のお世話」について、グループで話し合いをして、考えを深めてまとめよう		
	<p>○「1年生のお世話」についてお互いの意見や考えを聞き、質問するなどしてグループで考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半は8つの班が交代で、話し合いとアドバイスするグループに分かれて活動する。</li> <li>・話し合いを見て、良かったところを伝え合う。</li> <li>・後半は8つのグループ一斉に話し合いを行う。</li> </ul> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>オ. 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考え方を広げたりまとめたりすること。</p>	<p>思考・判断・表現            ◆自他の意見の違いを踏まえ、計画的に話し合いを進め、考えをまとめている。            (★発言, 活動)</p>

## 7 本時の学習

### (1) 本時のねらい

話し合うことを通して、考えを広げたりまとめたりする。

### (2) 本時の展開 (5／5時)

学習活動 (どんな活動をするのか)	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
1. 前時までの学習を振り返り、質問や助言の仕方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いの前提となる、自分の意見や根拠などを確認する。</li> <li>○話し方・聞き方については、前時の学習で考えたものに限らず、高二タイムで取り組んできた話し合いの仕方やポイントも想起させる。</li> <li>○意見をまとめていく時に、実現性のある姿を具体的に話していくことを確認する。</li> </ul>	
2. めあてを確認する。		
	グループで話し合いをして、考えを深めてまとめよう	
3. 「1年生のお世話」についてお互いの意見や考えを聞き、質問するなどしてグループで考えをまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>話 MAX タイム</b></div> ①A (話し合い) B (観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>伝え MAX タイム</b></div> ②観察をしていたグループが助言をする。 (B→A) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>話 MAX タイム</b></div> ③B (話し合い) A (観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>伝え MAX タイム</b></div> ④観察をしていたグループが助言をする。 (A→B) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>話 MAX タイム</b></div> ⑤A も B も話し合い、意見をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いをするグループと観察するグループに分かれさせる。</li> <li>○話し合いをしているグループは、メモ代わりとしてワークシートやホワイトボードなどを使用させる。</li> <li>○観察するグループは、話し合いを見て気付いたこと、良い話し合いになるためにはどうすればよいかを観察させる。</li> <li>○うまく話し合いが深まらないグループには、教室に掲示している「吹き出し MAX!!」の言葉を参考にするよう促す。</li> <li>○伝え MAX タイムでは、相手にうまく考えが伝わっていないところなどを客観的に見て感じたところを伝え合わせる。</li> </ul>	<p>◆【思考・判断・表現】他の意見の違いを踏まえ、計画的に話し合いを進め、考えをまとめている。 (★観察)</p>
4. まとめた意見や考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いの経緯を含めて、まとめた意見や考えを発表させる。</li> </ul>	

5．感想を書き、学習を振り返る。	○感じたことや考えたことを書くのではなく、よりよい話し合いができたか、アドバイスを受けての話し合いの変化などを書くようとする。内容面ではなく、話し合いの仕方について振り返りを書かせる。	
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	--